

今回は、栃木県の南部、足利市にある足利大学の国際交流、支援や自然エネルギー研究などについて紹介いたします。

足利大学について

足利大学は、創立 50 周年を迎え足利工業大学から足利大学へと名称変更を行いました。さらに記念事業として、自家消費型太陽光発電装置の設置や「大前キャンパス正門」ならびに「スクールバス発着所」の整備が行われました。そして同時期に看護学部のキャンパスである本城キャンパスが誕生しました。



本城キャンパスの外観



正門とスクールバス発着場の写真



50 周年ロゴ



自家消費型太陽光発電装置

1967 年（昭和 42 年）に月見ヶ丘高等学校 男子部 工業課程を母体とし、足利工業大学が開学しました。工学部機械工学科、電気工学科、建築学科が開設されました。現在では、工学部と看護学部があり、工学部では 1 学科 4 分野 7 コース制であり幅広い学習が可能です。工学部が通う大前キャンパスは足利市大前町に位置し、最寄り駅は、JR 山前駅、東武足利市駅であり両駅から大学までスクールバスが運行されています。このキャンパスには法人本部や図書館、情報科学センター、睡眠科学センターなどがあります。本学では、「和を以て貴しと為す」を建学の理念とし、人間、社会そして地球すべての調和と人と自然を技術で結ぶようなエンジニアを育成することを目指しています。研究分野では自然研究にも力を入れておりその分野の研究を行う多くの教員がいます。その中でも風力の研究では、牛山泉理事長が日本の風力発電研究の第一人者でもあり、昭和 52 年 11 月に風力エネルギー学会を設立し、事務所が本学の研究室に設置された風力エネルギー学会の発祥の地でもあります。

自然エネルギー研究の設備ではトリプルハイブリットシステム（太陽光発電や風力発電、バイオマス発電）や風と光の広場と呼ばれる数多くの小型風車が設置されている広場があります。この広場は世界有数の場所であり、多種多様な小型風車を見ることができると小型風車のカタログにも紹介されております。さらに小型風車を製作し発電電力量を競う大会に出場するサークルがあり、多数の学生が参加しております。そのサークルでは、モノづくりを通して風車について学び、さらに電気の発電方法について学び理解を深める事を目標に中学校や小学校へ出向き出前授業をおこなうなど、学校外での活動を積極的に行っています。



風と光の広場の小形風車



出前授業の様子



大前キャンパスマップ

国際交流について

本学の特徴として国際交流が盛んであることがあげられます。2018年度の在学者数は工学部で1096名、看護学部は333名、大学院は44名と小規模ながら、留学生の割合は工学部で5.59人に一人、大学院では留学生が過半数を超え日本人学生の3.4倍の学生が在学しています。

本学の国際交流課は留学生への支援がとても手厚いです。一年を通して留学生対象の新入生歓迎会や市内観光、ディ

ズニー旅行など多数のイベントが開催されます。それだけでなく、留学生が困っていればその課の職員が市役所まで着きそいに行くことがあります。大学院では ABE イニシアティブのプログラムの留学生の多くアフリカ人との交流が行われます。ABE イニシアティブ (African Business Education for Youth) とは、アフリカとのビジネスにおいて日本企業をサポートする人材の育成を目標としており日本の大学での修士号取得とインターンの機会を提供するプログラムです。途上国支援ではフィリピンマリアノマルコス大学での風力・太陽光セミナーやさくらサイエンスプランでのインドネシア人の高校生受け入れなどを行っています。イリノイ大学スプリングフィールド校 (UIS) との1ヶ月間の交換留学などもあります。

在学者数	2018年度時点
工学部	1096名
うち留学生	196名
看護学部	333名
大学院	44名
うち留学生	34名



UIS での短期交換留学



フィリピンマリアノマルコス大学での風力・太陽光セミナー



さくらサイエンスプランによる海外の高校生受け入れ

足利大学は「2018 日本留学 AWARDS」にて私立大学理工系部門でノミネートされた入賞校 5 校（足利大学、芝浦工業大学、東京電機大学、東京理科大学、早稲田大学）の中から大賞に選出されました。今回の大賞受賞は 5 年連続になり、日本留学 AWARDS 殿堂入りになりました。殿堂入りしたことを記念し 2018 日本留学アワード大賞殿堂入り記念祝賀会を開催しました。祝賀会には 7 か国 10 名の大使館の大使、日本語学校の教員、企業・行政関係者など約 450 人が出席しました。記念講演では牛山理事長とナチュラリスト C.W.ニコル氏が講演しました。



記念講演をする牛山理事長と C.W.ニコル



祝賀会の様子



日本語学校の教職員が選ぶ留学生に勧めたい進学先

一般財団法人日本語教育振興協会 日本語学校教育研究大会主催

留学生アワード受賞

さいごに

簡単にではありますが足利大学の国際交流や支援、自然研究などについて紹介させていただきました。お近くにお越しの際は足利大学にもお立ち寄りください。最後となりますが、今回、本学の取り組みを紹介させていただく機会を与えてくださいました日本機械学会に心より感謝申し上げます。

関東学生会 2019 年度会員校会開催報告

関東支部学生会担当幹事

山本義暢（山梨大学），高橋直也（東京電機大学）

6月1日(土)13時より、東京都信濃町の日本機械学会会議室において、2019年度関東学生会会員校会を開催しました。関東学生会を構成する44校の会員校から、13名の役員（教員）、35名の運営委員（学生）、3名の関東支部役員が出席しました。

会員校会では、支部学生会担当幹事より前年度の活動報告と決算報告、今年度の運営と予算について説明をしました。続いて今期の役員選出を行い、表1の方々に委員長、幹事として今年度の関東学生会の企画・運営にご尽力いただくこととなりました。さらに、関東学生会広報誌JSME-diaの編集担当ブロック・担当校を表2のように選出しました。

14時からは、2018年度学生会幹事 高野裕樹君（千葉工大）より昨年度の関東学生会活動報告を、また、本年度委員長に選ばれた中村浩太郎君（早稲田大）より来年3月に学生員卒業研究発表講演会を開催する早稲田大とキャンパス周辺の紹介をしていただきました。

また本年度より14時30分から、学生とシニアとの交流会、並びに会員校役員との意見交換会を実施し、有意義な機会及び御意見を賜りました。ご協力・ご講演いただきましたシニア会、村上俊明会長、川嶋康邦様（小松製作所 OB）、笠井憲一様（日立製作所 OB）に厚く御礼申し上げます。会員校会とシニア会交流会の同時開催は今後数年続けて行く予定です。ご意見及びご要望につきましては随時学生会担当幹事までお寄せいただければ幸いです。

その後参加者による懇親会が行われ、会員校同士の交流が図られました。懇親会の途中では、参加者による自己紹介が行われ、盛会となりました。

2019年度は関東学生会関連で表3のような事業や行事が予定されています。関東学生会では、学生員の皆様のニーズに沿った行事や企画を行っていきたくと考えています。学生員の皆様の行事への積極的なご参加、ご意見・ご提案をお待ちするとともに、周囲の学生さんにお声がけ頂き、学生員の仲間を多く増やすことができればと思います。

表1 2019年度 関東学生会委員長・幹事一覧

【委員長校】[委員長] 中村浩太郎君，[幹事] 磯谷浩孝君（早稲田大）
 【幹事校】[東京ブロック] 金森公平君（中央大），[神奈川ブロック] 竹村郁水君（慶大），[埼玉ブロック] 櫻井洗大君（日本工大），[千葉ブロック] 秋本康平君（東京理科大），[茨城ブロック] 鮎貝崇広君（筑波大），[栃木ブロック] 原悠樹君（足利大），[群馬ブロック] 南波城君（群馬大），[山梨ブロック] 高橋慶伍君（山梨大）

表2 JSME-dia 編集担当ブロック・担当校一覧

2019年10月号 [東京ブロック] 日本大，2020年2月号 [神奈川ブロック] 青山学院大，
 2020年6月号 [埼玉ブロック] 埼玉大

表3 2019年度 関東学生会関連 行事予定一覧

- ◆2019年6月 シニア会との交流会（実施済）、講演会、討論会、懇親会
- ◆2019年夏 関東学生会交流ツアー（予定）、一泊の交流ツアー（見学会、交流イベント、懇親会他）
- ◆2019年秋 関東学生会全体交流会（予定）、企業又は研究機関の見学会、技術講演会
- ◆2020年3月16日(月) 第59回学生員卒業研究発表講演会、会場：早稲田大学



2019年度関東学生会 運営委員・会員校役員

ジェスメディア 第120号（2019年6月号）
 発行：日本機械学会 関東支部 関東学生会
 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地
 信濃町煉瓦館5階 一般社団法人日本機械学会内
 電話(03)5360-3510 FAX(03)5360-3508
 編集：関東学生会 栃木ブロック
 足利大学：原 悠樹，岡田 伶